

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・写真 後藤	
山行番	NO. 1948		
日 時	2021年10月07日(木) 晴れ		
山 域	那須連峰(日本百名山、最高峰・三本槍岳 1917m)		
コース	起床 4:00-駐車場発 5:00-峰ノ茶屋跡 6:05-剣ヶ峰-朝日岳 6:48-1900m 峰 7:11-三本槍岳 8:15-大峠分岐-大峠 9:41-三斗小屋 11:18~57(昼食)-沼原分岐-峰ノ茶屋跡 13:14-茶 臼岳 13:49-峰ノ茶屋跡-駐車場 15:00-那須温泉・藤田屋(泊)		
標高差	上り	駐車場約 1470m~三本槍岳 1917m=約 447m 中ノ沢約 1300m~茶臼岳 1915m=約 615m	合計=約 1062m
	下り	三本槍岳 1917m~中ノ沢約 1300m=617m 茶臼岳 1915m~駐車場約 1470m=約 445m	合計=約 1062m
藪漕度	上り・下り なし		
難易度	非常に困難	困難	やや困難 普通 やや易しい 易しい
<b>10時間、厳しい那須連峰周回</b>			
参加者	後藤、加藤、星、合谷=4名		

登山経験は、既に50余年になるが、何故か那須連峰(日本百名山・最高峰=三本槍岳 1917m)は未踏だった。理由は不明。他の日本百名山で八幡平なども未踏である。

8/13, 山岳スキーで高名な金沢市のYSHRさんが、ここを周回した。私は未踏であり、「ハハ~、これは面白そうだ」と思った。行くなら、これしかない感じだった。



駐車場



峰ノ茶屋跡(現在、避難小屋)

前日、鹿沼・岩裂山(おざくやま)に上り那須に来た。ところが天気は悪い。キリシヨンの小雨模様でモーレツに寒かった。ただ、駐車場対岸の鬼面山の紅葉は見事だった。主にナナカマドの紅葉で、緑の笹の中の紅葉は鮮烈だった。

結局、峰ノ茶屋駐車場でなく、ロープウェイ駐車場に下りテントを張った。兎に角、寒いのでテントに潜り鍋を突く。アルコールも入り、次第に温まり、口は軽くなった。鍋は例によって、肉・

野菜仕立てだが、空腹に美味しかった。天気が良くないので女子は車で寝た。ヤローは、テントで夜半に雨に降られ、結構、濡れてしまった。

7日、4時起床。手早く朝食を済ませ駐車場に向かう。何でも駐車場は広くないので、紅葉の最盛期は駐車が出来ず登山が出来なくなると脅かされた。確かに狭い駐車場である。幸いまだ置けた。

5時発。計画書通りである。雨は止んでいた。整備された登山道を峰ノ茶屋跡に向かう。昨日の疲れで腰が重く、左膝が痛い。二連ちゃんは、この歳では厳しいか。峠は現在、避難小屋がある。剣ヶ峰を経て朝日岳着。太陽が見え隠れする。



朝日岳



1900m峰



三本槍岳に向かう。概ね下りが続く。北温泉分岐から先は、木道の平坦地が続き、なかなか良い感じだった。霧が晴れ辺りは見事な紅葉が広がっていた。静岡の紅葉と違い、赤が多く艶やか。

三本槍岳の上りに掛かる。程なく頂上着。北の旭岳の尖がりピークが印象的。遥か会津方面の展望が素晴らしかった。磐梯山も見えた。三本槍山名には、いわれがあった。

・・・那須連山の最高峰、標高1,917mの三本槍岳。三本槍の名は、江戸時代に山麓の会津、那須、黒羽の三藩の領地争いがあり、境界がはっきりしなかった山頂部に槍を立て、自藩の領地を主張したことにちなむと言われている・・・ネット



三本槍岳上り



三本槍岳山頂

三本槍岳から大峠に下る。多くの登山者は、大峠に行かず、Uターンして往路を戻る。しかし、我々は「周回登山」で初志貫徹。

大峠分岐から、上越を彷彿とさせる笹尾根を下る。勿論、誰も居ない。途中の展望台で食事。朝が早かったので空腹を感じた。「ひつまぶしのお茶漬け」で空腹を満たした。お茶漬けは、流動食で有難い。

眼下に旭岳をバックにした、鏡ヶ沼が素晴らしかった。「那須の瞳」のような沼だった。ただ、沼見学は、上からも下からも大変。快適な尾根を下る。大峠まで標高差は、約457m。標高差の



左・旭岳と右・鏡ヶ沼



三本槍下り



大峠

割に長く感じる。大峠は、お地蔵さまが数体並んでいた。大峠は、歴史が感じられるところだった。

・・・福島県の下郷町と栃木県那須塩原市との境に位置する標高 1460 メートルの大峠。江戸時代には会津藩の松川街道として整備されました。現在、車は途中までしか行かず、登山道のような旧街道を約 1 時間歩くと峠の頂上になります。栃木県側からの三斗小屋温泉からも歩いて約 1 時間かかります。 峠には会津戦争の時、会津藩が構築した塹壕跡が 146 メートル残っています。会津戦争の時、会津兵は下郷へ退却してしまい、ここでは戦いはありませんでした。峠の両側に深さ約 80

センチの塹壕（ざんごう）と砲台跡が残っています。ここから、那須の三本槍岳まで約2時間の登山道がある・・・ネット

峠から三斗小屋に向かう。途中、峠沢・中ノ沢・赤岩沢が三本あった。いずれも、増水すると渡渉が大変そうな沢だった。また、平行道と思いきや、上り下り多い。最後の中ノ沢から三斗小屋まで標高差約200mは実にキツかった。



中ノ沢



赤岩沢

へろへろで三斗小屋・大黒屋着。久しぶりの好天なのだろうか、庭にシーツが何枚も干してあった。ここで昼食。大いに空腹だった。ビアも頂いた。小屋にまだお客は居なかった。来るのはこれからであろう。従業員が渡り廊下で、煙草をスパSPAやっていた。若い方だったが、最近では若い方の喫煙は珍しい。小一時間で再び出発。茶臼岳まで最後の標高差約455mの上りだった。出発すると煙草屋前で歩荷に会った。若い女性だった。



大黒屋



荷物は30kg位といった。山が好きでアルバイトのようだ。皆で「10kg1万位かなア」と話題。駐車場から上り1時間（+アルファ）峠から小屋まで1時間（+アルファ）で、歩荷としては、まあまあの時間だろうか。私も若いころ、50kgの歩荷訓練を行った。冬山では、最高35

k g 背負った。でも、女性で30 k g は、重いだろうね。



若い女性の歩荷さん（何か重そうだね）

昼食を食べて元気が出た。茶臼岳の上りは快調だった。他の方も元気でピッタリ着いて来た。平均年齢71歳にしては超元気だった。

峰ノ茶屋跡で「那須連峰周回」が完成し、茶臼岳は往復。俄然、登山者が多くなった。多くの方が茶臼岳往復の様様。年配のジジ・ババさまも多い。鳥居が見えたら頂上だった。



茶臼岳頂上

何処かの親子に記念写真を頼んだ。指で「丸（周回）」パフォーマンスをした。お父さんに「何処から来ました」と聞かれたので、「三本槍岳～大峠～三斗温泉～」と答えたが、イマイチ、ピンと来なかったようだ。重い足を引きずって下山。駐車場着 15:00。発時間・帰着時間共、ピッタリ計画書通りだった。

最近、遠路の山は、下山し温泉を楽しんでいる。山をサッと上って、あたふたと帰るのは、どうも戴けなくなってしまった。年寄り、年配者の山の楽しみ方があるのでは??!!（仕事をしている方には、申し訳ないが・・・）

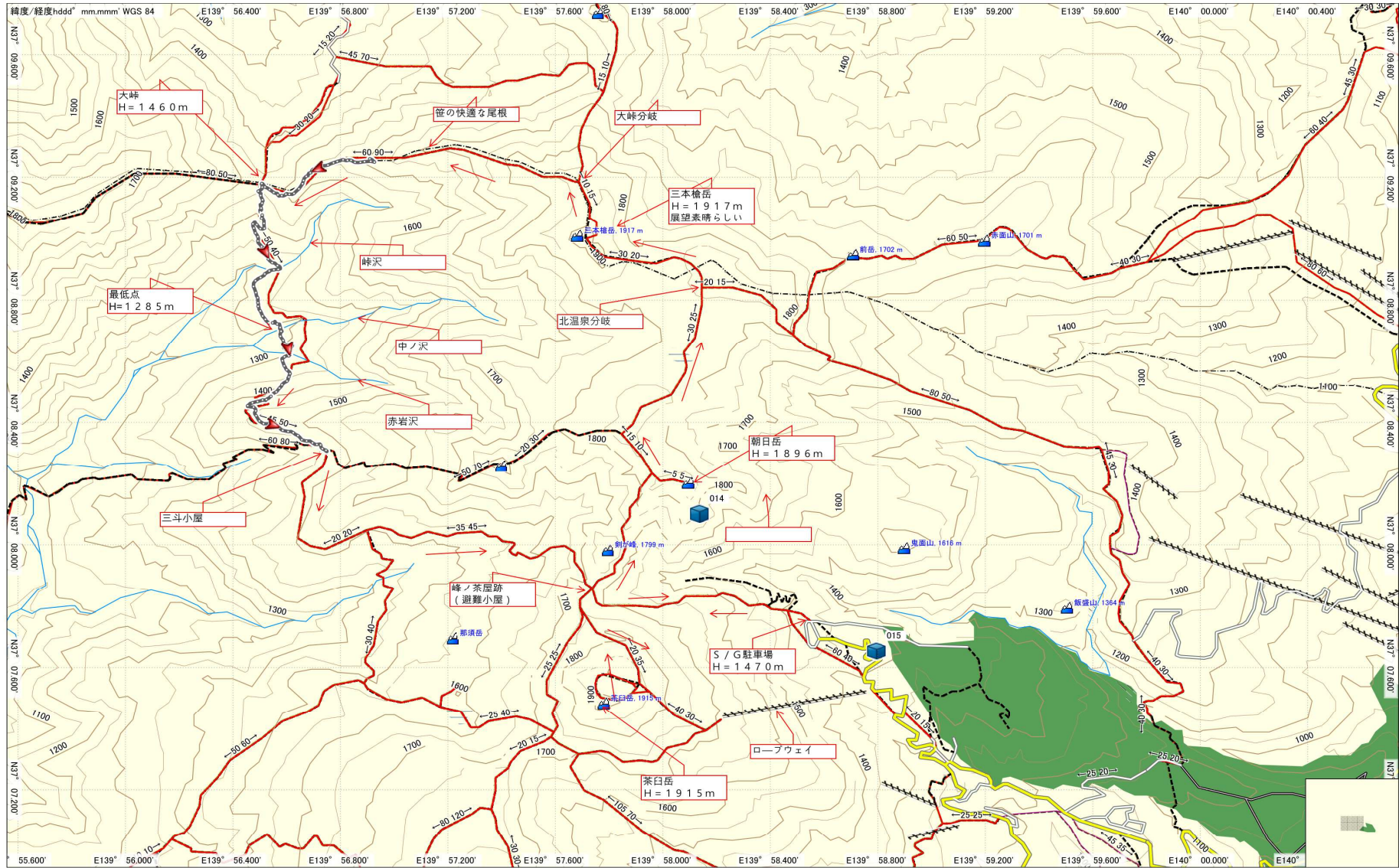


那須温泉・滝の湯

今回は、那須温泉の某所に泊まった。宿の選定はなかなか難しい。高価でもイイと限らない。安価でも素晴らしい宿はある。

部屋は24畳に4名で実に清々としている。ま、ピアノもあったが、これは弾けなかった。食事は、朝・夕部屋出し。温泉は、宿泊者のみの人数限定温泉。湯は温からず熱からずのガンガン流れるかけ流し。それで超安価。本当にこんな宿がある。事故宿??!!（笑）ただ、夕食18:30、朝食8:30は、ちと遅かった

事故宿は、ないだろうが、最近泊まった中では最上級だろう。計画者としては、皆様に喜ばれ良かったヨカッタ。8日、産直で安く良品の野菜を大量に仕込み帰静した。下り車線は、緊急事態解除で観光地に向かう車が溢れていた。（了）



Japan Topo 10M Plus V3  
© Garmin Corporation 1995-2014

2021/10/09 10:27:30



GARMIN

